

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年12月25日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 12月 師走 December 第24号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【令和5年度 2学期 終業式 式辞】

先週金曜日は、1年で1番太陽のでている時間の短い冬至でした。ゆず湯につかって体を温めたり、栄養豊富なカボチャを食べたりする習わしがありますが、寒さに負けず元気に過ごす先人の知恵のようですから試してほしいと思います。また、昨日はクリスマスイヴ、今日はXmasです。そもそもイエスキリストの生まれてきたことをお祝いする日ですが、世界中の人の幸せをお祈りする日でもあるようです。世界に目を向けると、おいしくて暖かいご飯が食べられること、安心して過ごせる家があること、家族と共に過ごせることなど当たり前のように当たり前ではない現実もあります。今おかれている生活に感謝して、今の自分にできることを精一杯取り組める荒中生であってほしいと思います。



今日で、4ヶ月間の2学期が終わります。それぞれの学年から代表生徒のみなさんが、2学期を振り返っての成長や思い出、反省、今後の課題などについて述べてくれました。印象的なことは、「全力で取り組んだ」「まわりのことを考えて行動できるようになった」「多くの人に支えられていると気付いた」など、仲間とともに取り組んでこそその成長に、感謝していることです。荒牧中学校の学校教育目標は、「自ら考え 行動し 未来を創造できる生徒の育成」です。2学期の始業式では、自ら考え、行動するチャンスがたくさんあるので、体育大会や学習発表会、合唱コンクールなどの行事への取り組みなどを通して、学級や学年の団結を高め、集団の中での自分をじっくりと見つめ、仲間と成長する機会にしてほしいと伝えました。行事を通して身についたことや、気付き、感謝の気持ちなどの成長こそが、未来を創造する力となります。「文武両道」を目標に、学問にも、スポーツにも、芸術にも、全力を尽くしてやりきることができたでしょうか？一生懸命に取り組むことで見えた、新しい景色や感動が、人の強さや豊かさになるのです。どの行事や取り組みでも「できないからといって」「失敗したからといって」荒中生は、誰かのせいにして攻めたりしません。いつも「支え合う」「励まし合う」「お互いを尊重する様子」が見られました。この姿は、先生方が、みなさんの力を信じ、自立を目指して、たくさんのチャンスや仕掛けを作ってくださったからだだと思います。先生方の、見守ったり、寄り添ったり、アドバイスをしてくださる姿から、みなさんが学び取ったところが多かったと感じています。そして、自分の力を人のために発揮している場面も多く見られました。そうすることで、自分も成長するし、仲間もうれしくなる。前向きになれる。だから、温かく居心地のいい場所で、お互いに磨き合い高め合えることができたのだと思います。

トライやるウィークの期間、朝早くに教育委員会の方から電話がありました。伊丹市民の方から市役所にメールがあり、活動を終えた荒中生がバスで乗り合わせたお年寄りの方に席を譲ったり困っておられたことを助けたり、の様子を見て心打たれたとのことでした。面識のない人が困っているのをみて、何かしてあげたいと思ってもなかなか行動に移せません。しかし、困っている人のために勇気をもって行動できる荒中生を誇りに思います。思いがなければ行動には繋がりません。我々大人も見習わなければならないと思いました。ありがとうございました。

明日から冬休みです。3学期は、1年生は先輩になるための「2年生0学期」、2年生は、最高学年になるための「3年生0学期」です。3年生は、自分の力で、自分の進路をつかみ取るための追い込みです。冬休みは、3学期をスムーズに迎えるために3つの約束をお願いします。ひとつは、「早寝 早起き 朝ご飯」健康管理に気をつけた生活です。睡眠時間は、記憶力、集中力を高めるために、成長期のみなさんには最低7時間（理想は、23時就寝 6時起床。特に3年生。）必要です。ふたつは、身の回りの整理整頓、大掃除です。「身の回りの乱れは、心の乱れです。」とあるクラスの担任の先生が朝学活で言われていましたが、その通りです。環境は、人を創ります。みっつは、家庭学習の時間は、最低でも学年プラス1時間です。宿題だけでなく、復習したり、本を読んだりして、自分で時間の使い方を考えて計画を立て、継続していくと学力が知らずと向上してきます。勉強は、自分で幸せをつかむためにするのです。人から言われないとできないようでは、自分の未来を創造する力につきません。受験は団体戦。1, 2年生も自分事です。一緒に頑張りましょう。

最後に、インフルエンザが猛威を振るっています。コロナ禍で鍛えた自分の命の守り方を発揮すべき時です。自主的な行動制限や感染予防を心がけて、新年を迎えた1月9日、3学期始業式。みなさんの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。以上 終業式の式辞とします。